

令和4年4月13日

明治時代の福島県の海岸にはハマハタザオやナミキソウが群生していた 田口亮男コレクション中の植物標本と当時の論文を分析

福島大学で分析を進めている田口亮男（たぐちすけお）氏の資料の中に、明治時代に福島県内で採集した海岸植物の標本 20 枚が確認されました。田口が 1911 年に発表した論文とともに分析することにより、ハマハタザオやナミキソウなどが群生していたなど 1901 ~1910 年の福島県の海岸の様子がわかりました。また、いわき市内で 1909 年に採集された、福島県では絶滅したヒメキンポウゲの標本も確認されました。共生システム理工学類の黒沢高秀教授らが、福島大学の紀要『福島大学地域創造』で発表しました。

海岸は人による開発や人工的な改変を受けやすく、そこに生育する海岸植物の種類も多くはレッドリストに掲載されています。特に、福島県は海岸の改変を精力的に進めてきたため、全国的にも自然海岸の割合が少なく、過去にどのような海岸植物がどのように生育していたかを知るのは困難でした。

石城郡大浦小学校（現在はいわき市）で校長などを勤めた田口亮男（1887 ~1958）は、明治から大正時代に活躍した福島県の植物を研究した最初の植物研究家の一人ですが、印刷物として残された研究成果が少ないため、その業績はほとんど知られていませんでした。福島大学では田口亮男の残した植物標本や手稿などの分析を進めており、昨年はいままで知られていなかった、磐梯山噴火の約 20 年後の植生景観を明らかにしました。

今回、植物標本と当時の論文を分析することにより、1901 ~1910 年の福島県の海岸の様子がわかりました。田口亮男が採集した海岸植物の標本 20 枚や田口の論文には現在の福島県の海岸部ではほとんど見られない植物が多く含まれており、現在絶滅が危惧されるハマハタザオ（福島県レッドリストで絶滅危惧 II 類）やナミキソウ（同絶滅危惧 IA 類）が群生していたとする記述からは、当時これらの植物の量が多かったことが推測されます。また、いわき市内で 1909 年に採集された、福島県では絶滅したヒメキンポウゲの標本も確認されました。

田口亮男の海岸植物標本のうち、田口が福島県師範学校を卒業して大浦小学校に赴任した 1909 年に小学校付近の海岸で採集した標本が 16 枚あり、「大浦尋常高等小學校」と印刷されたラベルが付されていました。大浦小学校に赴任して間もなく、海岸植物の採集を行い、あるいは児童や同僚に採集を指導し、標本を作成したものと思われます。また、ラベルに小学校名を印刷していることから、学校に備えた植物標本として、教育に活用していたものと思われます。田口は師範学校在籍中の 1908 年に開催された校友会の講演会において、「小學校に備ふべき植物標本」と題する講演を行い、小学校の博物教育の理想を論じて、準備すべき植物の標本や、その採集方法を述べたという記録

が残っています。今回の標本や論文は、明治時代の県内の小学校に赴任した熱意ある教員による具体的な取り組みを知る、教育史資料としても貴重と思われます。

なお、植物標本は福島大学貴重資料保管室で保管されています。

田口亮男の手稿類の中には、この他にも明治から大正時代の福島市内や飯豊山など県内各地の植物標本も残されています。今後、これらの標本についても順次研究を進めていく予定です。

これらの研究結果は、2022年2月発行の『福島大学地域創造』第33巻第2号で発表され、現在福島大学学術機関リポジトリでpdfがダウンロード可能となっています。

論文名：田口亮男資料に基づく1901～1910年の福島県における海岸植物の種多様性の状況

著者：黒沢高秀（福島大学共生システム理工学類 教授）・根本秀一（東京大学大学院理学系研究科附属植物園 特任研究員）

掲載雑誌、ページ：福島大学地域創造 第33巻第2号 91～104ページ

発行年月：2022年2月

福島大学学術機関リポジトリ

<http://ir.lib.fukushima-u.ac.jp/repo/repository/fukuro/>

当該論文

<https://ir.lib.fukushima-u.ac.jp/repo/repository/fukuro/R000005791/18-395.pdf>

本研究の一部は福島大学資料研究所の事業の一環として行ったものです。本研究の一部はJSPS 科研費 18H04146 および福島大学学内競争的研究資金助成 18RI015、21RG006 を受けて行われました。



図．田口亮男コレクション中に含まれる，明治時代に福島県の海岸で採集された標本．左：
 ヒメキンボウゲ（採集者不明，1909年6月15日採集）．右：ハマハタザオ（採集者不明，
 1909年4月29日採集）．ラベルに「大浦尋常高等小學校」と印刷してある。

図に用いた画像のダウンロード先

https://fukushima-u.omile.jp/public/95sMQAzEwE-AH94Bu19_0IHQoNs6zUUuMeuUGPZHft2L4

（お問い合わせ先）
 共生システム理工学類・教授 黒沢高秀
 電話：024-548-8201
 メール：kurosawa@sss.fukushima-u.ac.jp